

## 前田の《ちょっと経営を考えよう》第 360 回

まだまだ続くコロナ禍でも、十分利益を生んでいる企業もあれば、売り上げを上げる事ができなくて倒産・破産・休業の憂き目に遭っている飲食店やホテル・旅館等もあります。

また日本の公開会社でも、PBR（株価純資産倍率）が1倍を下回っている企業が圧倒的に多い。すなわち株主から預かった資本を有効に活用できていないため、投資家が将来の企業価値の向上に確信を持ってない。さらに生産性が低く将来に期待が持てないと市場（投資家）に見られている企業が、日本には非常に多いことを示しています。平成の30年間に企業価値を高めた上位株として、ニトリホールディングス、日本電産、ピジョン、ユニ・チャームなどが名を連ねます。この辺りに市場が示唆する企業経営のヒントがあるように思われます。

そのキーワードは、以下のようなものがあげられます。

- 独自性の重視（自ら考えぬき、他社を参考としない）
- スピード感ある意思決定を行う
- フラットな組織を持っている
- 自由闊達な風土がある

大企業も中小企業も、やはり独自の製品・商品等の開発をし、スピード感ある企業経営を行うことができる企業が生き残っていく企業となるものと思われます。

次に、アメリカの成功者であるベンジャミン・フランクリン氏の自伝から、「陥りがちな過ちを克服する戒律」を6項目紹介します。

- ◆ 節制 → 皆様どうですか、できていますか。
- ◆ 沈黙 → シャベリすぎる事が無いこと。
- ◆ 規律 → 物はすべて所を定めて置くべし。仕事はすべて時を定めてなすべし。
- ◆ 決断 → なすべきことをなさんと決心すべし。決心したことは必ず実行すべし。
- ◆ 節約 → 自他に益なきことに金銭を費やすなかれ。浪費するなかれ。
- ◆ 勤勉 → 時間を空費するなかれ。常に益あることに従うべし。無用の行いは絶つべし。

今からでも学んで実行すれば、こんな大変な時でも十分生き残ることができると思います。是非参考にしてください。

## 前田の《今人生を語る》第 265 回

## めざめよ日本人 (187)

今日（7月7日）、前統合幕僚長・河野克俊氏の講演を聞いてきました。次のような事を仰っていました。「日本は好むと好まざるとに関わらず世界の安全保障の最前線に立たされた。したがって台湾有事はいやおうなく日本有事となる」。アメリカがなんとかしてくれるという甘い考えでは日本は打ちのめされるということです。

現在、仕入税額控除の方式は、消費税率変更と同時に区分記載請求書等保存方式となっていますが、これはインボイス制度導入につながるものです。インボイス制度（適格請求書等保存方式）は、複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式として令和5年（2023年）10月1日から導入されます。

## ① インボイス（適格請求書）とは

インボイス（適格請求書）とは、「売手が、買手に対し正確な適用税率や消費税額等を伝えるための手段」であり、一定の事項が記載された請求書や納品書その他これらに類する書類をいいます。

## ② 適格請求書発行事業者登録制度

インボイス（適格請求書）を発行できるのは、適格請求書発行事業者に限られます。消費税の課税事業者は、適格請求書発行事業者となるために登録申請をする必要があります。登録されていない事業者は仕入税額控除の対象にはなりません。

## ③ 課税事業者への影響

課税事業者はインボイス（適格請求書）の発行が義務付けられるため、事前に適格請求書発行事業者の登録をする必要があります。また取引先の事業者が課税事業者に該当するかの確認も必要になります。インボイス制度が導入されると、免税事業者との取引が仕入税額控除の対象外になる可能性があります。

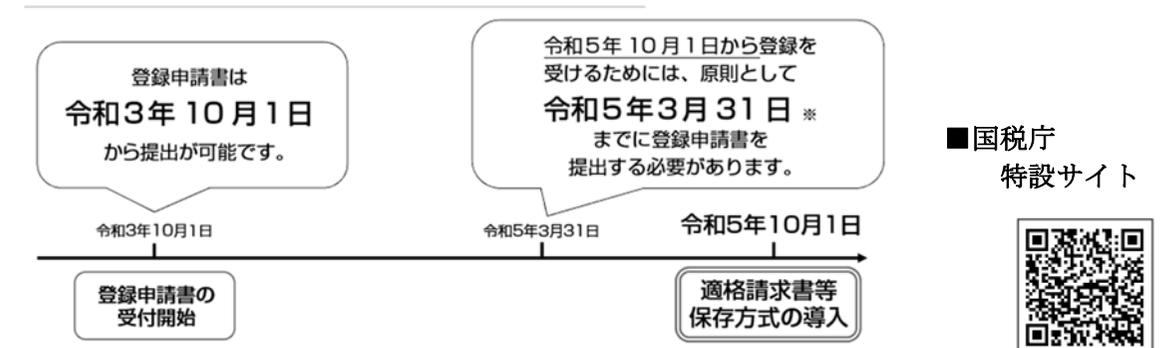
※制度導入後すぐに対象外になるわけではなく、段階的に廃止になります。

## ④ 免税事業者への影響

インボイス制度が導入されると、課税事業者が免税事業者との取引で支払った消費税は、仕入税額控除を受けられなくなります。そのため免税事業者は、取引先の課税事業者から課税事業者になるよう要請されたり、免税事業者のままだと取引を控えられたりするということが考えられます。また免税事業者はインボイスを発行できないため、消費税の請求ができなくなります。

免税事業者は、メリット・デメリットを踏まえたうえで課税事業者になるべきか考える必要があります。課税事業者になるメリットは、課税事業者相手にも取引がしやすいこと。デメリットは、消費税の支払い義務が発生してしまうことです。

## 登録申請のスケジュール



詳しくは国税庁のHPにてご確認ください。

## ■ リーフレット

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/300416.pdf>